

令和4年10月14日

令和4年度第3回 地域を紡ぐ看看連携セミナー ご案内

～はじめよう、つなげよう 北海道スタイルで創る看護と看護の連携～

旭川医科大学看護職キャリア支援センター
センター長 服部 ユカリ
地域看護職支援部門長 井戸川 みどり

拝啓

秋も深まり、木々が色づき始める季節となりました。

皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

旭川医科大学看護職キャリア支援センター地域看護職支援部門での、大学病院と訪問看護事業所がともに学び・語り合い、地域での療養生活を支えていくための看看連携の推進をめざしたセミナー開催も2年目を迎えました。第1回の7月は「医療依存度の高い患者の在宅移行に向けて」、第2回の9月は「認知症を抱える患者の在宅移行に向けて」というテーマで、ミニレクチャーと訪問看護事業所や保健所の看護職と当大学病院看護師とで事例検討を行いました。セミナーでの意見交換は、日々の困りごとの解決策のみならず、新たな気づきや情報共有の大切さや連携強化の再認識、お互いの立場の理解・尊重につながり、参加者の皆様からは大変ご好評をいただきました。

今回の第3回は超高齢社会を迎え、外来で化学療法を受ける高齢者に関する院内および地域の医療・看護との連携について、ミニレクチャーと事例検討を企画しています。

つきましては以下の内容で今年度最終となる第3回を開催しますので、是非ご参加いただきたくご案内を申し上げます。第1回・第2回の様子は当センターホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

敬具

記

1. 開催日程(年3回)

第1回：~~令和4年7月7日(木) 17:45～19:00~~ 終了しました

第2回：~~令和4年7月22日(木) 17:45～19:00~~ 終了しました

第3回：令和4年12月9日(金) 17:45～19:00

2. 内容

テーマ 「地域で暮らす高齢者の安全・安楽な外来化学療法の継続に向けて」

・ミニレクチャー「外来化学療法を受けている高齢者の訪問看護の実際」仮

講師：訪問看護ステーション かしわのもり 統括所長 松山 なつむ氏

・事例検討「高齢者が外来化学療法を継続していくために

必要な看護の視点と情報共有について」

3. セミナー形態

Zoom によるオンライン開催

4. 対象

訪問看護事業所・保健所で勤務する看護職と本学看護職



第2回 事例検討の様子

5. 参加料

無料

6. 定員

先着順の15施設

※施設単位でのお申込みとなります

※参加人数は1施設につき2名までを上限とします

※Zoom 開催となるため接続機器(PC等)は1施設につき1台までとします

7. 申込方法

施設単位で右記の QR コードからお申込ください

また、当センターホームページ(<https://www.asahikawa-med.ac.jp/ncsc/>)からもお申し込みが可能です



8. 申込締切

令和4年11月4日(金)

9. 問い合わせ先

旭川医科大学 看護職キャリア支援センター(白瀧、平瀬)

TEL:0166-65-2111(代表)

E-Mail:kango-career@asahikawa-med.ac.jp

主催 旭川医科大学 看護職キャリア支援センター 地域看護職支援部門



このセミナーは笹川保健財団 2022年度地域啓発活動助成を受け実施します